

四万十川の環境についての報告会が行われました!!

清流通信読者の皆様こんにちは!

今回は、流域の各市町で行われた「四万十川流域全体の環境評価」についての報告会のレポートです。

高知県は、平成14年に11名の学識経験者で構成する「四万十アドバイザー会議」を設け、四万十川流域の全体的な環境について、専門的・学術的な視点で調査や評価を行いました。

四万十川流域の山林から海までの広い範囲の自然環境について、過去と現在とでどのような変化があったのかをさまざまなデータに基づいて検討を行い、「四万十川流域の環境評価報告書」にとりまとめ、今回、委員の先生方から流域住民の方々に直接、報告・説明会を行い意見を伺いました。

昔(30~40年前)と比べて、「山が荒れた」「魚が減った」「川が汚れた」など、流域住民の方の生の声(平成6年度アンケート)に対し、関連する水質や水量、水温や気温、間伐率などの経年変化のグラフを使ってわかりやすく説明されました。また四万十町での報告会では住民の方から「合成洗剤などの化学物質について触れられていないが何故?」との意見があり「今回は、過去と現在との変化について検討結果を報告しており、科学物質は具体的なデータの蓄積がなく評価できていないが、今後の課題として考える必要があると思う」などと活発な質疑応答もみられ、住民の皆さんの河川環境に対する関心の高さも伺える報告会となりました。

来月の10月10日(水)には第7回四万十ルネッサンス協議会が四万十町「きらら大正」で開催されます。こちらでもこの報告(一部ですが...)がされるとのことですので、興味がある方はぜひお聞きになって下さい。

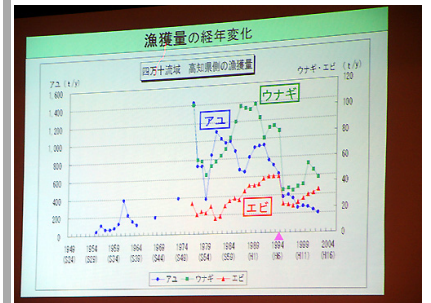
お問い合わせは、この2つの会議の事務局を持つ、県清流・環境課088-823-9795(四万十川担当)までお願いします。



↑ 四万十町での報告会の様子



↑ 約100名が参加した四万十町



↑ データに基づいた説明

トピックス

四万十川流域の文化的景観と近代化遺産・シンポジウムと見学会

10月20日(土)「四万十川流域の文化的景観を学ぶ」と題して講演会とシンポジウム、そして翌21日には沈下橋や森林鉄道などの近代化遺産の見学会が、四万十町大正で開催されます。

参加費は無料。高知市からのバスもあり宿泊(有料)も可能ですので、文化的景観や近代化遺産等に興味がある方はぜひご参加下さい。

バス、食事、宿泊するには申し込み(10月9日まで)が必要です。

詳しくは主催の(社)日本建築学会四国支部・高知支所 TEL 0887-53-4858(10:00~15:00)までお問い合わせ下さい。



↑ 下津井のめがね橋

トピックスII

四万十樵養成塾・塾生を募集!!

手前味噌で申し訳ありませんが.....、当財団主催で森林ボランティア養成講座「四万十樵養成塾」を、平成19年11月23~25日(前期)と平成20年2月9~11日(後期)に分けて開催します。

チェーンソーの取り扱いや間伐について知識を深め、四万十川流域の保全にご協力いただける(そうでなくても可)という方はぜひ参加下さい!! 詳しいお問い合わせは、事務局 Tel 0880-29-0200 担当・山地まで。